

決 算 審 査 特 別 委 員 会

令和5年9月7日（木曜日）

付議事件

委員長の互選

副委員長の互選

決算審査日程について

決算審査方法について

出席委員（8名）

委員長 遠 藤 保 明

副委員長 片 桐 文 夫

委 員 島 田 恒

委 員 井 田 孝

委 員 崎 山 華 英

委 員 戸 村 ひとみ

委 員 菅 谷 道 晴

委 員 常世田 正 樹

欠席委員（1名）

委 員 宮 澤 芳 雄

委員外出席者（1名）

議 長 木 内 欽 市

事務局職員出席者

事務局長 穴 澤 昭 和

事務局次長 金 谷 健 二

副主幹 菅 晃

開会 午後 3時33分

○**議会事務局長（穴澤昭和）** 本会議でお疲れのところ、ご苦労さまでございます。

それでは、決算審査特別委員会を開催するに当たりまして、委員長が選出されておりませんので、旭市議会委員会条例第10条第2項の規定によりまして、委員長が選出されるまでの間、出席委員の中の年長者でございます遠藤保明委員に座長を務めていただきたいと思います。

遠藤保明委員、よろしくお願いいたします。

（座長 遠藤保明 座長席に着席）

○**座長（遠藤保明）** 着座ですみません。

ただいまご指名いただきました遠藤保明です。しばらくの間、委員長が決まるまで座長を務めさせていただきます。

ただいまの出席委員は8名、委員会は成立しました。

それでは、ただいまより決算審査特別委員会を開会いたします。

本日は木内議長に出席いただいておりますので、議長のほうよりご挨拶をお願いします。

○**議長（木内欽市）** 委員の皆さん、大変ご苦労さまでございます。

ただいま本会議におきまして、9名の皆様方に決算審査特別委員会委員を選任させていただきました。

これから正副委員長の互選がございます。もう既にご存じのように、本委員会は令和4年度の決算、予算がどのように使われたか、効率的に使われたか、計数の誤りがないか、非常に大事な委員会でございます。議員の仕事には二つあるかと思います。地域の声を上層部に伝える、これも重要な仕事の一つでございますが、今言いましたように予算の承認、認定、これも大きな議員の仕事、二つの柱でございます。そういった意味で大変重要な委員会でございますので、ぜひよろしくお願いいたします。

毎度のことですが、この決算で議員、執行部はよく聞いているんです。無駄があったというのは翌年度すばっと切りますからね。非常に反映されます。重要な委員会でございます。

私事でございますが、昔各学校で落語家を呼んでやる講演をやったんですね。見ると、どの学校も全部子どもたちの情操教育に非常にいいなと、どこでもはやっちゃった、全部落語落語で、その予算が何百万円、これは子どもたちに果たして落語ができるのかなと。それを言ったら、翌年度すばっと全部切りましたね。こういった大事なあれなので、皆さんの忌憚の

ないご意見、そして新人議員多うございます。やはり期待するところ大であります。我々だともう頭が老化していまして、毎年疑問に感じなくなっちゃうんですね。ですから、皆さんの斬新な意見でぜひ反映させたいと、必ず翌年の予算に反映されますから、非常に重要な旭市の役割。

それで、今までだと国の何でも全部予算、右肩上がりでしたね。これからはもう人口減、合併特例債の恩恵もなくなります。これからは収入が減っていくんです、旭市も。ですから、それに対して大事な決算委員会でありますので、今年あたりがその大きな節目の年になろうかと思います。ぜひぜひよろしくお願い申し上げます。

○座長（遠藤保明） ありがとうございます。

それでは、案件でございますが、決算審査特別委員会の正副委員長の互選の件について、初めに委員長の選出をお願いいたします。

片桐委員。

○委員（片桐文夫） このメンバーを先ほど議長のほうから発表されまして、前回の議会ですと全員協議会の中でこの名簿をもらったんですけれども、メンバーの中で一番期数の上の宮澤芳雄委員ですが、今日親族の中に不幸があつて、来られませんが、前回も私、宮澤委員のほうにもお話をして、宮澤委員、次回、期数も上だしやるんじゃないのということで話をしたら、宮澤委員、うーんというような回答でした。今日この場に本当はいいいんですけれども、親族の不幸で来れないということですから、前例というかあれから言っても期数の上の人がいいじゃないかなと私は思います。

○座長（遠藤保明） その他ありますか。

菅谷委員。

○委員（菅谷道晴） 私、建設経済常任委員長の菅谷でございます。

建設経済常任委員から3名の委員ということで選出の流れの話の中で、建設経済常任委員会からは遠藤委員を委員長に推薦したいということで決まりました。ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

○座長（遠藤保明） ただいま菅谷委員からもありましたけれども、一応宮澤委員と私ということで、どのように指名したらよろしいでしょうか、皆さん。

井田委員。

○委員（井田 孝） そもそも本人いなくていいんですか。

○委員（片桐文夫） 一応、本人にも先ほど私、電話で確認を取りました。一応本人の納得も得

ています。ただ、先ほど菅谷委員のほうからありましたけれども、建設経済の中から推薦って、確かにそれは分かるんですけれども、このメンバーの中から推薦という形で見ていったほうがいいんじゃないかなって私は思います。

○座長（遠藤保明） では、宮澤委員ということで……

島田委員、どうぞ。

○委員（島田 恒） 宮澤委員も本当にそういう意味で適任だと思うんですけれども、私ちょっと分からないんですけれども、この決算審査特別委員会の、例えば我々経験ないですけれども、宮澤委員は今までこの中での役席等はあったとかなかったとかというのはあるんでしょうか、経過として。

○座長（遠藤保明） 事務局長。

○議会事務局長（穴澤昭和） 過去の決算審査特別委員会で、宮澤芳雄委員は、平成 30 年で総務から選出されまして委員長は経験しています。

あとは、今推薦されている遠藤委員は、副委員長は経験していますけれども委員長は 아닙니다。

以上です。

○座長（遠藤保明） 片桐委員。

○委員（片桐文夫） その申し合せ事項というか、そういった何かの決まりの中で、委員長経験とか副委員長経験があったら駄目だという、そういったあれは。

○座長（遠藤保明） 事務局長。

○議会事務局長（穴澤昭和） 申し合せの中では第 3 節特別委員会第 63 番に決算審査特別委員の選出というのがあって、その中で委員になれないのは監査委員である議員、または監査委員であった議員が監査委員在職中に審査した決算を審査する決算委員にはなれないということで、これ以外に書かれていませんので、委員長経験とか副委員長経験云々はないです。

○座長（遠藤保明） 島田委員。

○委員（島田 恒） 基本的に 9 人いますので、20 人の中で 9 人選ばれていて、期数の高い方は知見も経験もあるし結構だと思うんですけれども、そうすると半分が選ばれる中で常に期数の上の方がやられると、それはそれでいいと思うんですけれども、やはり経験ということも、それとこの決算審査委員会の中での経験ということも踏まえれば、委員長なりやられて全体的なレベルを上げていくというのはやっぱり必要ではないかなと思いますので、私としては副だった遠藤委員が委員長でよろしいのではないかなと思います。

○座長（遠藤保明） 片桐委員。

○委員（片桐文夫） すみません、島田委員のやつあれしちゃいますけれども、期数は私のほうが上ですけど、先輩ですので申し訳ないですけども、ただ今言ったやつを推薦されるメンバーというのは、先ほど菅谷委員が言ったように、各委員会の中から若い人がいいんでしょう、年上がいいでしょうというのが委員会の中から上がってくると思うんですよ。ですから、上がってきた中で見た場合の期数が上の人。たまたまこの場で行くと宮澤委員、次に私ということですか、という期数のあれになってきますけれども、また来年度、再来年度になったときにはもう完全に若い人になるという、場面も出てくると思うんですけども、今回のこれからを見た場合には島田委員の言うのは確かに分かるんですけども、ある程度のかじ取りををするとか、何かから見ていった場合には、やっぱり期数の上の人が適任ではないのかになって私は思います。

○座長（遠藤保明） 今、宮澤委員いないけれども、欠席の委員を座長に決めて今日、それで進めますか。どうでしょうか、皆さん。

事務局長。

○議会事務局長（穴澤昭和） 取りあえず今2人の候補が出ていますので、どちらかに絞るといのはちょっと今の段階では難しいですよ。やり方は、そうすると一つの考えとすると、やはり投票というか、そういう方向にも一つあるし、今指名推薦で1人に絞ってくれるのが一番、これ理想なんですけれども。

○座長（遠藤保明） 今までちょっとそういう経験がなかったものでね。

議長、どうですか。アドバイスのものを。

○議長（木内欽市） もう少し意見出して、最終的にまとまらなければ投票ということになるでしょう。

（発言する人あり）

○議長（木内欽市） となりますので、どうぞ皆さんご意見を出していただいて……

○座長（遠藤保明） 皆さん、忌憚のない意見を出してもらって。

○議長（木内欽市） なければ、意見が出尽くせば投票ということになりますので、当然座長も投票権ありますので。

○座長（遠藤保明） 何か皆さん意見ありますでしょうか。なければ投票に変えますので。投票にしますか。

井田委員。

○委員（井田 孝） やっぱいいない人を選ぶというのは、ちょっと何か……。これで委員長が決まったとしても次、副委員長を選ぶのに委員長はいないというわけですから、今日副委員長まで決めなきゃならないので、欠席の人を選ぶというのはちょっと何か違和感があります。

○座長（遠藤保明） どうですか、今井田委員の意見に対して。

菅谷委員。

○委員（菅谷道晴） そうですね、私も井田委員の意見に賛同します。それと、宮澤委員は一度経験していらっしゃるということで、島田委員がおっしゃっていましたが、遠藤委員は経験がないということで期数というあれもございすけれども、年齢から言いましたら遠藤委員のほうが上だと思えるものですから、委員会の総意もございすので遠藤委員に委員長になっていただいて、副委員長は、宮澤委員は、副委員長本人やられるかわからないでしょうけど。

○座長（遠藤保明） どうですか、ほかの方の意見は。

常世田委員。

○委員（常世田正樹） これで多分、宮澤委員が今日欠席なので。宮澤委員に、じゃ副委員長をお願いしますというのも言いづらいかなと思うんですよ。逆に、遠藤委員が委員長、副委員長が宮澤委員というのも言いづらいのかなって、ちょっとそこどころが。そうすると、副委員長は宮澤委員ではなくて、例えば年上ってなると片桐委員というふうになるのかなって思うんですけども、そこら辺の兼ね合いは片桐委員、どうなんでしょう。

○座長（遠藤保明） 片桐委員。

○委員（片桐文夫） 私も確かにいない人を委員長という形で今言葉を出したんですけども、確かに皆さんが言うように、いない人をそうやって委員長に決めるのは、この後また委員長の報告なり、何かすぐあるんですよ。ありますので、ちょっとそれはいない人がいきなりもう今度副の人が代理で言うのもちょっとおかしいところもありますし、皆さんの意見が正しいかなと私は思います。

○座長（遠藤保明） どうでしょうか。

戸村委員、どうですか。

○委員（戸村ひとみ） 何かこういう場面が前もあったかも分からない、これから後もあるかも分からないときに、一定のルールを決めておくと、こういうふうにじゃ最後は投票ねみたいなことにならなくていいのかなと。その一定のルールというのが、片桐委員がおっしゃったような期数が一番上という、それだと欠席している人とかそんなの関係なしに、いやだって

本日の欠席は正当な理由って言ったら変ですけども、それがあって欠席されているので、そういったときにこれから後も、じゃ最終的には投票ねみたいなことになったらやっぱり禍根を残すというようなことも考えられますし、そうしたら一定のルールを決めておくほうが——決めておくというよりも、決めなくていいんですけども、何となくそういう一定のルールがあるんだ的なものでやると分かりやすいかなという気が、ああだこうだでもめなくていいのかなって気もしないでもないんです。

○座長（遠藤保明） 分かりました。

崎山委員、何か意見ありますか。

○委員（崎山華英） 大丈夫です。

○座長（遠藤保明） 片桐委員。

○委員（片桐文夫） 私一言言わせてもらいますけれども、確かに今戸村委員言ったように、議員の中で私もまだ入って何年もないペーペーですけども、あうんのあれがありまして、期数の上の人が何かにつけ、年が下であろうと、期数の上の人がおのずとそういった役に就いたわけですけども、これからはさっき島田委員が言ったように違う目で見るともいいのかという考えも確かにあります。

ただ、今回のこのことに関しましては、それこそ欠席して、いない人を選ぶのはどうかなって、私も今自分で言ったはいいいけど、我に返って考えてみたらいない人を委員長に言っちゃって、本人の承諾は得ているようなものなんですけれども、いない人をそうやって決めるのはちょっとおかしいところあるなって島田委員言ったように思いますので、私が言った宮澤委員というのは取り下げますので、すみません。

○座長（遠藤保明） どうですか。

（発言する人あり）

○座長（遠藤保明） ただいま片桐委員からもいろいろありましたけれども、私という意見が出たと思って、私を委員長にという意見だと思ひまして、大変僭越でございますが、私が委員長を務めさせていただきます。よろしいでしょうか。

（「全員一致ですよ」の声あり）

○座長（遠藤保明） そうですか、すみません。では、よろしくお願いします。

よって、座長の職に引き続きまして、私が委員長を務めさせていただきます。

（委員長 遠藤保明 委員長席に着席）

○委員長（遠藤保明） 引き続き、決算審査特別委員会の副委員長の選出を行いたいと思います。

それでは、どなたか推薦をお願いいたします。

井田委員、よろしくお願いします。

○委員（井田 孝） 片桐委員でどうでしょうか。

○委員長（遠藤保明） ただいま井田委員より、副委員長に片桐文夫委員をとの意見がありましたので、よろしくお願いします。

片桐文夫委員を副委員長とすることよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（遠藤保明） 異議なしと認めます。

よって、片桐文夫委員を副委員長とすることに決定いたしました。

ここで、副委員長よりご挨拶をお願いいたします。

○副委員長（片桐文夫） すみませんでした。私の一言が委員長の選任の中でこんなに時間を使ってしまいまして、申し訳ございませんでした。

このたびは副委員長ということで仰せつかりましたので、皆様の意向に沿うように頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（遠藤保明） なお、ただいまの正副委員長の選出結果については、この後本会議において議長より報告をしていただきます。

次に、事務局より協議事項がございますので、よろしくお願いします。

事務局長。

○議会事務局長（穴澤昭和） それでは、決算審査の日程と各議案の審査方法について説明をいたします。

お手元に配付いたしました審査の日程及び審査方法案をご覧いただきたいと思います。

決算審査の日程については、9月14日、15日、19日の3日間を予定しております。

審査方法ですけれども、一般会計の審査方法については、初めに歳入全般についての審査を行いまして、歳出については一つの款ごとに歳入歳出を併せて審査することとし、日程については日にちで区切らずに順次審査することとしております。

なお、特別会計と企業会計については、従前どおり会計ごとに歳入歳出併せて審査することとしております。

また、執行部の職員の出席ですけれども、款ごとに入れ替えると時間もかかりますので、ちょっと大きく四つに区分して対応していただく予定であります。

説明は以上です。決算審査の日程及び各議案の審査方法について、ご協議をお願いしたいと

思います。

○委員長（遠藤保明） 事務局の説明は終わりました。

ただいま事務局より、決算審査の日程及び各議案の審査方法についての協議がございました。

それでは、ご意見がございましたらお願いいたします。何か。

崎山委員。

○委員（崎山華英） 各日 10 時からってなっているんですけども、例えば長引いた場合に、最長何時までとか終わりの時間というのは決まっていますか。

○委員長（遠藤保明） 事務局長。

○議会事務局長（穴澤昭和） 会議時間というのは、基本的に午前 10 時から午後 5 時までというのが会議時間になっているんですけども、ただ委員会にはそういった時間の日程はないんですけども、だからそれを本会議と合わせれば 5 時までかなと。もし 5 時を過ぎるのであれば延長するという形になりますが、3 日間あって、先ほどの話ですけども、2 日間の間でできれば一番いいんでしょうけれども、そういった形の間で終わりとすれば 5 時が一つの目安になろうかなと思います。

（発言する人あり）

○委員長（遠藤保明） 事務局長。

○議会事務局長（穴澤昭和） 記憶の範囲ですけども、去年は今審査方法の案を見ていただいた中で、たしか 10 款の教育費あたりまでは審査を初日にして、そこから次の日にまたがったような流れになろうかなと思います。次の日はそれを踏まえて特別会計、企業会計を行って、その日に終わったという流れです。

○委員長（遠藤保明） ほかに何か意見ありますか。

戸村委員。

○委員（戸村ひとみ） 先ほどの事務局の説明ですと、委員長のほうで会議延長しますという口実があれば何時まででもいいということですよ。そういうことですよ。

○委員長（遠藤保明） 事務局長。

○議会事務局長（穴澤昭和） これは委員長のほうから延長をしてよろしいかというのを問いますので、皆さんの同意を得られればこれは延長になります。よろしくお願いします。

○委員長（遠藤保明） 戸村委員。

○委員（戸村ひとみ） 私、むやみやたらに時間をかけようとは思っていないんです。ただ、先ほど——いや、先ほどって言ったらちょっと悪いんだけど、要するに理解できないよう

な答弁があったときにはやっぱり理解したいので、どうしても聞いちゃうわけですよ。そうすると、何かまた深みにはまっちゃってみたいなことになったりするわけです。それを何か途中でやめるわけにはいかないんですよ。なので、私から当局側をお願いしたいんですけども、本当に答弁は簡潔に、聞いていないところまで答えなくていいですから、簡潔をお願いしたい。こちらが聞いていることに本当に簡潔にご答弁いただければ、そりゃ時間内に終わりますよ、もちろん。そこのところが何かもう毎回委員会とかでも思うんですけども、一旦休憩になったりしてざっと調べてみたりとか、もう想定されることってこれだけ私、いろいろ本会議でも委員会でも言っているわけですから、想定答弁ぐらいはそろえておいてほしいなと思うんですよ、データのなこととかね、そんなもの持っていないみたいなことじゃなくて。やっぱり全ては当局側の答弁にかかっていると思います。

○委員長（遠藤保明） 議長。

○議長（木内欽市） 私も今言おうと思っていました。恐らく熱心な方々ですから、質問多いと思うんですよ。ですから、遠慮しないで質問してくださいね。それで、決算委員会の人に言おうと思うんです。答弁は短めに、聞かれたことだけ答えればいいです。再質問で聞けるんですから。ですから、今日の議案質疑聞いていても、聞かれないほうまでだらだら、本当に課長、もう少し短く聞かれたことだけ答えればいいんですよ。そうすれば早く終わるので、ぜひ委員長、そこは答弁は聞かれたことだけということ徹底してくれるようお願いします。私も今言おうと思っていましたよ。たまたま今、戸村委員から出たので、言いたいのは、皆さん遠慮しないで質問してくださいということです。時間かかっちゃって悪いからなんてやっちゃうと何にもならないんでね。

○委員長（遠藤保明） 議長から先に言われましたけれども、私のほうから議長のほうにそれはお願いしようかと思っていました、本会議のときに。事務局並びに担当課から明確な答弁をお願いするということで、簡潔な明快で、それは議長のほうにお願いしておきます。

それでは、決算審査の日程及び審査の方法についてでございますが、事務局案のとおりでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（遠藤保明） ということでお願いします。

では、ご異議のないようでございますので、そのように決定させていただきます。

なお、一般会計の歳出の審査については1款から順次審査していくということですが、1款は議会費となりますので、2款の総務費から審査したいと思います。

ここで、事務局、資料の配付をお願いします。

(資料配付)

○委員長（遠藤保明） ただいま決算審査に当たっての着眼点ということで資料を配付させていただきましたが、審査に当たりこちらの資料を一読していただき、9月14日から始まる決算審査に臨んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、事務局より確認事項がありますので、よろしくお願いいたします。

事務局長。

○議会事務局長（穴澤昭和） それでは、確認事項を申し上げます。

ただいま決算審査の日程と各議案の審査方法等について決定をいたしましたので、その旨を執行部のほうに事前に連絡したいと思います。先ほどありましたように、明快な回答をできるような体制を整えてもらうようにも添えていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（遠藤保明） 事務局の確認事項は終わりました。

以上をもちまして決算審査特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。ありがとうございました。

閉会 午後 4時 5分